**応急危険度判定**

応急危険度判定とは、大地震により被災した建物を調査し、その危険性を判定するものです。建物の余震による倒壊の危険性などを判定し、人命にかかわる二次的災害を防止するために行います。判定が済めば、赤・黄・緑のいずれかの紙が建物の見やすい場所に貼られます。

それぞれの色の意味は、以下の通りです。
○赤：危険　危ないので入ってはいけません。
○黄：要注意　入るときは、注意して下さい。
○緑：調査済み　入っても大丈夫です。

応急危険度判定の実施の有無や実施地域は、市町村が判断します。詳しくは、住所所在地の市町村にお問い合わせください。
＊り災証明書発行の際に行う建物調査とは、別の調査です。